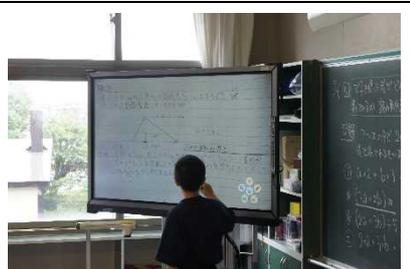


数学部会 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	数学的活動の質を高める教材研究の視点と授業例—図形指導に焦点をあてて—	
日時	令和 元年 7月 5日(金)	
会場	恵庭市立柏陽中学校	
講師	<p style="text-align: center;">久保 良宏 氏</p> <p style="text-align: center;">(肩書:北海道教育大学旭川校 教授)</p>	
参加者	約32名	
研修会 の 様子		<p>恵庭市立柏陽中学校1年1組で岸本哲典先生による公開授業。「式の読みとり」をねらいとして、三角形の高さの式を読みとる授業を実施した。</p>
		<p>「どういうことが言えるのか、説明してみよう。」という発問で生徒たちは、式が何を表すのかについて、個人で考え、ノートにまとめた。導入の2問での知識を活用し、考える様子が見られた。</p>
		<p>説明を聞いてみたい人のところに行って、聞いてみようの指示のもと、生徒たちは自由に動き回り、説明し合う活動が見られた。生徒の「知りたい欲」をかき立てる活動であった。</p>
		<p>生徒が実物投影機を用いて、説明をする活動も行われました。図を用いて説明をする生徒もいて、表現ができていました。</p>
		<p>講演会では、久保教授から図形分野での教材例が多く示されました。新しい視点も多く、参加者からも参考になったという意見が数多く寄せられました。</p>

